

うきは市内国・県・市指定文化財一覧表

市指定文化財（23件）

指定種別	指定区分	指定名称	指定年月日	所在地	内容
史跡	市	やすどみこふん 安富古墳	S56.11.1	吉井町福益278	古墳後期、直径約15mの円墳、前室と後室の2つの部屋をもつ横穴式石室
	市	ふくろのぜき 袋野堰並に同附属遺跡	S57.5.12	浮羽町三春573-8	田代重栄と重仍がうそのせに木門を設け袋野の岩山1110間(約2km)を掘削、現在は夜明ダムに沈む
	市	しょうへいとう 正平塔	S56.11.1	吉井町千年506	宝塔 金剛界王仏を示す梵字 正平18(1363)調衆建立 筑後川の戦い(大保原)
建造物	市	きゆうこもりたけ かみだやしき 旧籠田家家屋(鏡田屋敷)	H8.10.2	吉井町若宮113-1	幕末から明治初期の建築、筑後吉井伝統的建造物群の中でも典型的な屋敷型建造物
	市	だいゆうほうてん 大雄宝殿	H8.6.27	浮羽町流川478(大生寺)	聖福寺(福岡市博多区)より移築された建物、日本にある3体の一つとされる賓頭廬尊者木像が安置されている
有形民俗文化財	市	こしおじんじゃ 小椎尾神社農耕絵馬図	S57.5.12	浮羽町小塩3239 (小椎尾神社)	五穀豊穡を願い四季の移ろいと共に人々の生活の様子が描かれている
	市	すわじんじゃ 諏訪神社農耕絵馬図	S57.5.12	浮羽町田籠1368 (諏訪神社)	五穀豊穡を願い四季の移ろいと共に人々の生活の様子が描かれている
	市	農耕「稲作絵馬」	H8.6.27	浮羽町三春2508 (三春天満宮)	五穀豊穡を願い四季の移ろいと共に人々の生活の様子が描かれている
	市	三十六歌仙絵馬	H8.6.27	浮羽町田籠1368 (諏訪神社)	田籠の与国という俳人が何かの祈りに芭蕉の高弟の野坡の染筆を得たものと考えられる
	市	ふだ つじ こうしんとう 札の辻の庚申塔	S60.3.5	吉井町1292	文政元(1818)正面「猿田彦 青面金剛 三猿」裏面「南妹川 星野道」
	市	ぐんざかいし 郡境石(5基)	S56.11.1	吉井町生葉354他	元禄8(1695)11月 生葉郡・竹野郡の両郡を分ける 有馬藩建立 3基は山間部
	市	みぞぐちてんまんぐう 溝口天満宮絵馬(1面)	H9.6.12	吉井町福永315-1 (溝口天満宮)	四季農耕絵馬 旧柳川藩御用絵師北島勝永作
	市	おいまつじんじゃ 老松神社農耕絵馬	H19.5.2	吉井町屋部97-1 (老松神社)	五穀豊穡を願い四季の移ろいと共に人々の生活の様子が描かれている

市指定文化財

工 芸	市	こんどうせいこまいぬ 金銅製狛犬(1対)	S56.11.1	吉井町若宮366-1 (若宮八幡宮境内)	寛永元年再建 弘化2(1845)銘 室屋(藤江伴右工門)寄進 博多山鹿平次郎作 広瀬淡窓の撰文あり
	市	こんどうせいとうろう 金銅製灯籠(1対)	S56.11.1	吉井町若宮366-1 (若宮八幡宮境内)	天保15(1844)6月銘 室屋の寄進 京都近江屋作 代金120両
書 跡	市	たしろけ 田代家文書一括	H4.1.23	吉井町983-1 (吉井歴史民俗資料館)	江戸・明治・大正の西大庄屋 初代から18代までの350年間の773点
無形民俗 文化財	市	うきは 浮羽おくんち行列(振毛槍並に子ども楽)	S57.5.12	浮羽町山北2-2 (賀茂神社)ほか	京の流れを汲む素朴で興味のある子ども楽の奉納、大名行列にならった青年振毛槍
	市	みはるてんまんぐう ひきりしんじ 三春天満宮火鑽神事	S57.5.12	浮羽町三春2508 (三春天満宮)	得られた火を齋火といい神に供える食べ物の煮炊きや燈火の火種として使用
	市	わかみや 若宮おくんち(毛槍)	H2.3.27	吉井町若宮366-1 (若宮八幡宮)ほか	若宮八幡宮から高橋神社までの御神幸の毛槍行列
	市	よしいぎおん 吉井祇園はやし	H2.3.27	吉井町1083(素盞鳴神社)	天領日田の祇園囃子が伝えられたと言われる町を4組に分け、1組と3組、2組と4組が年ごとに当番、山笠を組み、その上で演奏する
天然記念物	市	楠	S61.3.1	浮羽町朝田481-1 (朝田天満宮境内)	根廻り17mの大型の楠
	市	かや 榎	S61.3.1	浮羽町新川4426(高御魂神社境内)	根廻り8mの大型の榎
彫 刻	市	みぞぐち 溝口観音堂木造観音立像(1躯)	H10.2.5	吉井町福永358-3 (溝口天満宮)	室町時代作 連珠の首飾りが特徴的
		もくぞう におうぞう ざんけつ 附 木造仁王像残欠(1躯)			藤原時代後半作 阿形像・吽形像の2躯
		におうぞうきぼり 附 仁王像浮彫石碑(2基)			江戸時代享保年間作 阿形像・吽形像の2躯

県指定文化財（7件）

指定種別	指定区分	指定名称	指定年月日	所在地	内容
有形民俗文化財	県	油絵「元寇」 <small>げんこう</small>	S36.1.14	浮羽町流川1292(本佛寺)	矢田一しょうの作品、1組14枚
	県	岩屋堂木彫阿弥陀如来坐像 <small>いわやどう もくちよう あみだにょらいざざう</small>	S39.5.7	浮羽町小塩2491 (岩屋堂観音堂)	この地に落ち延びてきた丹後局が「比丘尼」となり草庵を建て頼朝たちの冥福を祈ったとされる
		小椎尾神社旧神像敷板 <small>こじおじんじや きゆうしんざうしきいた</small>		浮羽町小塩3249他 (小椎尾神社)	敷板には康正2年東山城主越生越前守広齊の銘がある
	県	御粥占い面絵録(4冊) <small>おかゆうらない おもてえろく</small>	S39.5.7	浮羽町田籠1368 (諏訪神社)	天明2(1782)年から続く御粥占い
附 御粥箱(1個)		3合3勺のかゆを保管しておくための箱			
工芸	県	梵鐘 <small>ぼんしょう</small>	S32.12.20	吉井町1165(浄満寺)	寛永13(1636)銘 全高1.42m 旧日田郡大原山神宮寺蔵
書跡	県	問註所文書(54通) <small>もんちゆうじよ</small>	S56.3.5	浮羽町流川635 (河原忠誠氏)	星野・秋月氏と戦いを繰り返し勝楽寺などの社寺を建立した問註所氏の古文書、54通
	県	熊懷家文書 <small>くまだきけ</small>	H8.5.31	浮羽町山北733-1 (うきはの郷家宝資料館)	賀茂神社の由来など44通、大友氏の指令など社家関係94通、有馬藩関係41通のほか山北村役場文書534通
天然記念物	県	千年の柊 <small>ちとせのひいらぎ</small>	S36.4.18	吉井町千年402 (家永清文氏宅)	標高10m、胸高周囲2.2m

国指定文化財（10件）

指定種別	指定区分	指定名称	指定年月日	所在地	内容	
重要文化財(出土物)	国	ちくごこく うきはぐん つきのおか 筑後国浮羽郡月岡古墳出土品	S36.2.17	吉井町983-1 (吉井歴史民俗資料館)	文化2(1805)年出土	
史跡	国	ひのおか 日岡古墳	S3.2.7	吉井町若宮366-1	装飾古墳、古墳時代後期、全長74mの前方後円墳	
	国	やかた 屋形古墳群	めずらしづか 珍敷塚古墳	S28.3.31	吉井町富永653-2	装飾古墳、3色の色合い、葬送儀礼をあらわしたものか
		※S28.3.31屋形古墳群3古墳指定(珍敷塚古墳・鳥船塚古墳・古畑古墳)、H61.2.25原古墳追加指定	はる 原古墳	S61.2.25	吉井町富永649-3他	装飾古墳、西に開口する単室の横穴式石室、誤って反対向きに置かれる
			とりふなづか 鳥船塚古墳	S28.3.31	吉井町富永2316-18	装飾古墳、西に開口する単室の横穴式石室だったが破壊される、2段の腰石のみ残る
			ふるはた 古畑古墳	S28.3.31	吉井町富永2316-8	装飾古墳、円筒埴輪・人物埴輪が並んでいた、南西に開口する複室の横穴式石室
	国	くすみょう・しげさだ 楠名・重定古墳	しげさだ 重定古墳	T11.3.8	浮羽町朝田681-1他	装飾古墳、6世紀後半に築造、現全長51mの前方後円墳だが削平されているため当時の姿ではない
			くすみょう 楠名古墳		浮羽町朝田669他	7世紀前半に築造、径32mの円墳、複室構造の横穴式石室、玄室より前室が大きい特異なプラン
国	つかはなづか 塚花塚古墳	T11.10.12	浮羽町朝田1235-2他	装飾古墳、6世紀後半に築造、明治以前はウーツカの名称で呼ばれる、径30mの円墳、削平により変形		
重要文化財(建築物)	国	ひらかわけ 平川家住宅(主屋・納屋)	S46.6.22	浮羽町田籠383-1 (平川光臣氏宅)	江戸中期の建築、母屋を上から見ると凹の形をしていることから凹型前谷寄棟造と呼ばれる	
国選定地区	国	ちくごよしい 筑後吉井伝統的建造物群保存地区	H8.12.10	吉井町指定区域	江戸末期から昭和初期の白壁土蔵建物ほか	
	国	にいかわたごもり 新川田籠伝統的建造物群保存地区	H24.7.9	浮羽町新川・田籠地区の指定区域	茅葺き民家、棚田石垣ほか	
登録有形文化財	国	くすみりかわきたけ 楠森河北家主屋ほか7棟	H16.3.2	浮羽町山北2056	800年間27代続く旧家、主屋、座敷、新座敷、材木小屋、秤蔵、炭部屋、米蔵・器蔵、味噌部屋で構成	
	国	みなみくぼたけ 南久保田家主屋ほか7棟	H24.2.23	吉井町福永160-2	江戸時代から続く豪農、主屋、米蔵、古蔵、ツキアタリ蔵、農業倉庫、味噌部屋、裏門、材木置き場および脇門で構成	